

構想5年の陶芸工房の挑戦！生産の場から体験の場へ

草津の頑張る企業 Vol.49

淡海陶芸研究所

所在地：草津市岡本町686-1

TEL：077-563-5934

営業時間：10:00～18:00／不定休

URL：<http://ohmitogei.com/>



▲公式HP



左 代表：山元 善宣氏
右 副代表：山元 一真氏



「草津焼」
グラノーラボウル

草津ブランド認証品「草津焼」をご存じですか。

草津市の文化ゾーン、立命館大学びわこ・くさつキャンパスや住宅地が広がる丘陵地帯の近くに「草津焼」を製作する工房、淡海陶芸研究所さんがあります。鉄分を多く含む土から作られる「草津焼」は軽く硬質で、遮水性の高さが特徴です。国内はもとより、海外で人気が高く、これまで多くの外国人観光客やMade in Japanの製品を求めるバイヤーが訪れましたが、コロナ閉鎖でゼロに。そのような中、アフターコロナを見据えてピンチをチャンスに変えるべく事業の再構築に取り組む淡海陶芸研究所さんを今回ご紹介します。

陶芸工房の今後を見据えて

コロナ以前から外国人観光客やバイヤーの来訪が少しずつ減少傾向にあった工房。そのような中で得られた観光客のニーズの大きな変化、それは陶器を“買いたい”から“作りたい”への移り変わりでした。

「これまでから陶芸体験は行っていましたがメインは販売。設備を含め工房は生産の場でした。しかし、今後の戦略を考える中で、インバウンドの個人旅行をガイドする通訳案内士という存在を知り、その方々との連携で宿泊陶芸体験をプランニングいただくことで、新たな価値を提供できるのではと考えるようになりました。」と構想開始当時を振り返っていただきました。

宿泊型の陶芸体験事業で誘客を目指す

現在の工房を体験の場として生まれ変わらせるべく、山元代表は今後の事業のあり方や計画を検討。昨年秋には陶芸体験を行うための課題であった①小ロットの陶器焼成が可能な焼窯の導入、②体験スペースの整備、③宿泊、休憩スペースの設置について事業再構築

補助金申請にチャレンジし、見事に採択。年内の完成に向けて現在着々と準備が進められています。



陶器の小ロット焼成が可能な焼窯



工房2階を改装し設置された宿泊、休憩スペース

「構想開始から約5年。ようやくここまでこぎつけることができました。コロナの影響で遅れた部分もありますが、目指した工房のかたちに近い状態です。まだまだ課題はありますが、コロナが落ち着いた暁には外国人観光客はじめ、多くの方に活用いただきたいです。副代表である息子に代わった後も永く愛される工房づくりを目指します。」と山元代表は笑顔で語っていただきました。

淡海陶芸研究所さんの陶芸体験で“芸術の秋”を満喫してみたいかたがでしょうか。

淡海陶芸研究所が利用した事業再構築補助金を活用しませんか！

ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するための企業の思い切った事業再構築を力強くサポート。(以下、補助制度の一例)

【通常枠】 従業員数20人以下の場合の補助額：100万円～2,000万円(補助率：中小企業は2/3)

【回復・再生応援枠】 従業員5人以下の場合の補助額：100万円～500万円(補助率：中小企業は3/4)

※上記の他、複数の申請枠があります。申請にあたっては各種要件がありますので、詳細は草津商工会議所(077-564-5201)までお問合せください！